

帯小の窓



帯広市立帯広小学校
Obihiro Obihiro
Elementary School
平成29年11月17日
NO 20

学校力向上

「教育の成果を子どもの姿で示し 家庭・地域との信頼ときずなをさらに深める」

居心地のよい環境づくり

今の自分の精一杯を発揮して 感動を届けた！ …子どもたちに成長のあとを残して学芸会が終わる…

10日(金)の「学芸会」には、平日にもかかわらず、多くの保護者・地域・来賓の皆様に来校いただきました。発表への盛大で温かな拍手をありがとうございました。

学芸会は、6月の運動会・9月の公開研究会同様、教育活動の成果を子どもたちの姿を通して広く公開する場でもあります。文化的(音楽・劇)な発表へ苦手意識をもつ子は必ずありますが、自分なりの目標を意識して、担当の先生方と共有し励まされながらの練習期間だったと思います。すべての子どもたちにとって、練習から自分の精一杯を発揮できた後の成就感・達成感、「自信」や「自己肯定感」として今後の生活を豊かにしてくれるはずです。



ドラマ仕立てが楽しかった
難しい器楽もはつちり
1年生

1年 みんなでやってみよう!



最後まで自分たちの力でやりきった
のぞみ学級

のぞみ学級 3びきのやぎのがらがらどん
～のぞみバージョン～



楽しい構成と心が伝わる表情で会場を盛り上げた
3年生

傾
声
動き
で
心に届いた!

3年 つながる!ミュージックフェスタ



演技から演出 準備まで自分たちで
高学年としての自覚が見えた
4年生

4年 劇: 吉四六どん



ユーモラスなストーリーがびったり
そして名演技の
2年生

2年 劇: アイウエオリババ



丘巻のホテイパーカッション
から心洗われる合奏
5年生

5年 We like music♪ ～17人の音楽隊～



ミュージカルの名演技はもちろん
業も会場をシンドくさせた
6年生



6年 ミュージカル 嵐の中の子どもたち

教師力アップ研修3

特別支援教育をテーマに

中札内高等養護学校教諭の菊地信二氏を招いて、「高校からみる特別支援教育 ～今、大事にしたいこと～」というテーマで研修を行っていただきました。

社会にはばたく直前の生徒を進路指導担当として導いておられる先生の立場から、義務教育段階における指導支援観について大事にしたいこととお話しくださしました。

特殊教育が特別支援教育へと代わってから、特別な支援を必要とする、ということとは「特別なこと」ではなくなりました。どの段階のどの学級の教員であれ教職にある者にとっては、「特別支援」の考え方は必須の専門的な知識であり、子どもたちを見る視点のひとつとして大事なことであることを再認識しました。



菊地氏の説明より

社会人として自立していくために必要な力とは？

- 時間の管理能力
- 金銭の管理能力
- 心と体の健康と体力
- 衛生や身だしなみ
- 余暇の過ごし方
- 「ありがとう」と「ごめんなさい」が言える
- 笑顔、さわやかなあいさつと元気な返事

今年度も様々なケースを想定して行事やショートで訓練を行ってきており、子どもたちの意識も日常化されてきています。十五日（水）の訓練は各教室に不審者が侵入したことを想定したものです。「暗文による校内放送」から始まり、教室では担任が不審者と時間を稼いでいる間に指示に従って速やかに体育館に避難する、という流れです。全校で行うのは初めてですので、今後反省をふまえながら、子どもたちや職員に実効のあるものにしていきたいと考えています。



子どもたちにお話する生活安全課の方



整然と素早く避難する2年生

不審者進入想定避難訓練
全学級への侵入を想定して行いました。



学芸会で



早朝からたくさんさんの保護者の皆様ありがとうございました。当日のVTRスペース←

校内スタッフ

児童会事務局の子どもたちが観覧の約束を自分たちの言葉で下級生たちに伝えました。みんなしっかり聞いていました。←



放課後、職員がリンク設計を行いポイントにくいを立てました。一部霜柱が立ってどろんこになっていたグラウンドがついに使えなくなりました。季節のうつろいを感じます。 14日（火）



ダスキン出前講座 キレイの種まき教室 1年生が掃除の専門家にそのノウハウやなぜ掃除が必要かについて体験的に学びました。 14日（火）